

鹿児島県の森

鹿児島県の森は、ソテツや桜島の溶岩・ミヤマキリシマを大胆に配し、郷土色豊かなエリアになっています。また、神戸鹿児島県人会の活動により建立された、阪神淡路大震災慰霊碑が目を引きまます。

県の木 クスノキ(クスノキ科)

県内に広く群生しているクスノキは、歴史的にもゆかりの深い木です。蒲生町や志布志市の大クスは有名です。



阪神淡路大震災慰霊碑

平成 11 年神戸鹿児島県人会により建立されました。隣には犠牲者名の碑があります。



県の木 カイコウス(マメ科)

南米原産の落葉樹。アメリカンデイゴの名で知られています。6~9月頃に赤い花を咲かせ、赤と緑のコントラストが大変南国らしい木です。



県の花 ミヤマキリシマ(ツツジ科)

その名のとおり、霧島山系一帯を中心に自生します。5~6月頃、紅紫色の花を咲かせ、初夏の山々を鮮やかに彩ります。



ソテツ(ソテツ科)と桜島の溶岩

南国を代表するソテツと、鹿児島のシンボルである桜島(の溶岩)で、薩摩隼人を彷彿させる、豪快な構図に仕上げられています。